

災害時の食を考える研修会（第1回）開催要項

1 目的

災害時における食事は、健康な身体を維持することはもちろん、被災者に精神的な安定をもたらす重要な要素となる。災害時に被災者の食事を確保するためには、各町における食料供給体制や食支援体制を整備するとともに、住民自らが、自分や家族の健康状態に応じた食料や必要物品を備蓄しておくなどの災害に対応できる力をつけておくことが重要となる。

そこで、地域住民や行政、関係機関・団体等が、災害時の食の重要性について考え、食料備蓄等の災害時の食の備えの基本的知識を学ぶことを目的に研修会を開催する。

2 対象 地域住民（特に、区長、民生委員、食生活改善推進員、健康づくり推進員等の住民リーダーとして活動されている方）、町職員、給食施設職員 等

3 日時 平成30年12月5日（水）午後1時30分から午後3時20分まで
（受付：午後1時～）

4 場所 甲佐町生涯学習センター 上益城郡甲佐町豊内719-4

5 内容

13:00 受付開始

13:30 開会挨拶

講演「災害時における食事の重要性と備えのポイント」

講師：公益社団法人 日本栄養士会

常務理事 下浦 佳之 氏

15:00 講演会閉会・アンケート記入
備蓄食品展示コーナーの見学

15:20 終了

6 その他

本研修会開催後に、第2回研修会として、実践編研修（パッククッキング、非常食の試食等）の開催を予定（平成31年1月頃）。